

寒さに負けず疾走！ 吉野ヶ里ロードレース

1月20日、第19回吉野ヶ里ロードレースin神崎市（神崎市体育協会・佐賀新聞社主催）を吉野ヶ里歴史公園で開催しました。

当日は、絶好のロードレース日和に恵まれ、市内外から約1,500人が参加。古代ロマンあふれる弥生路を懸命に力走する選手や仲良くジョギングを楽しむ親子など、心地よい風を受けながら参加者には笑顔があふれていました。

また、今回は、特別招待選手として箱根駅伝の強豪校である東洋大学陸上競技部の選手3人を迎え、10キロコースでは終始先頭集団を引っ張るなど、大会を盛り上げていただきました。



▲1位でゴール



▲東洋大学陸上競技部選手の皆さん



▲お父さんと手をつないで



▲吉野ヶ里の壮大な景色の中を駆け抜けます



▲大盛り上がりの抽選会



▲くねんワン・くねんニャンも力走！



▲たくさんの声援で元気が出ます



▲最高齢者賞の音成さん

▼成績一覧表

部門		1位	2位	3位
4km男子	氏名	淵上 慶一郎	國武 凜太郎	大野 裕貴
	所属	伊万里中学校	福間東中学校	東脊振中学校
4km女子	氏名	合屋 奈夏	高橋 美幸	枝光 美奈
	所属	福間東中学校	鹿島市役所	大川市
10km男子	氏名	鬼塚 智徳	平 敏治	大橋 盛和
	所属	九電工	戸上電機製作所	神埼消防署
10km女子	氏名	土橋 りか	酒見 範子	小嶺 やよみ
	所属	多久OC	神崎市	福岡市

遠来賞	氏名	伊藤 勝
	住所	宮崎県宮崎市
最高齢者賞	氏名	開田 智
	住所	宮崎県宮崎市
最高齢者賞	氏名	音成 市次(81歳)
	住所	神崎市



ふるさと カメラ点描

「柳の並木」



神埼町横武のカントリーエレベーターの側を南北に走る水路沿いに、約500メートルにわたって柳の並木があり、春になると淡い緑を芽吹かせ季節を告げます。かつてはクリークや川の土手のあちこちに生えていた柳ですが、近年は見かけることも少なくなり、懐かしさを覚える風景です。このように枝が垂れているものを柳、ネコヤナギなど枝が上に向いているものは楊と表すそうで、漢字文化の奥深さも感じるところです。

市のうごき (平成25年1月末日現在)

- 人 □ 33,034人 (対前月 -19人)
(男/ 15,774人 女/ 17,260)
- 世帯数 11,315世帯 (対前月 -7世帯)